

第268回 京都歩こう会コース案内

リーダー 多湖幹男

日時:平成30年11月23日(金)

集合:阪急京都線 西京極駅 10時出発

コース:西京極より竹田を散策

距離:8.0km

行程:西京極駅⇒天神川沿い⇒桂川遊歩道⇒久世橋公園⇒笠井公園⇒西高瀬川・鴨川橋
 |————— 1.5 ———|————— 1.4 ———|————— 1.3 ———|————— 1.7 ———|
 ⇒鳥羽離宮跡公園(昼食)⇒城南宮⇒北向山不動院⇒安楽寿院⇒竹田駅(解散)
 ——— 0.7 ———|————— 0.3 ———|————— 0.6 ———|————— 0.2 ———|————— 0.3 ———| (単位:km)

【見どころ】

- **城南宮(じょうなんぐう):**
794年平安遷都に際し、国常立尊(くにのとこたちのみこと)と八千矛神(やちほこのかみ)と神功皇后(しんぐうこうごう)を祀り、以来都の南方に鎮まり国を守護する城南宮と仰がれる。平安時代の末に、白河上皇がこの地に離宮を造営して院政を始められると、政治・文化の中心地となり、祭礼も大いに賑わった。又上皇方の方除の精進所にあてられ、旅の安全が祈願された。
- **北向山不動院(きたむきざんぶどういん):**
山号は北向山。開山は興教大師。本尊重要文化財で康助作の不動明王。1130年興教大師が鳥羽天皇の病氣平癒の祈願をした際、不動明王が出現、回復した天皇の勅命により建立し勅願寺とした。不動明王を本尊とし、平安京を鎮護する意味もあって不動明王像は、北の平安京に向けられている。よって「北向山」の名が付けられた。現在の本殿は、1712年霊元天皇によって東山天皇の御殿を移築。鐘樓の梵鐘は1694年(324年前)に铸造されたもの。
- **安楽寿院(あんらくじゅいん):**
安楽寿院は1137年鳥羽離宮の東端に、鳥羽上皇が御堂を建立、阿弥陀三尊像を安置したのが起源とされ、天皇家ともゆかりの深い寺院。境内に接した場所に、鳥羽天皇と近衛天皇の陵がある。本尊は阿弥陀如来座像で、平安時代に作られた重要文化財。戦国時代に修理されたが、全体的に保存状態はよく、予約すれば拝観することができる。



桂川遊歩道(先にJR線橋梁)

北向山不動院(北の平安京に向く)

安楽寿院(皇室ゆかりの寺)

【次回第269回ご案内】
 日時:平成30年12月14日 (第2金曜)
 コース:草津宿と石部宿を結んだ街道文化 距離:7.0km
 集合:JR草津線 手原駅 午前10時 出発

【次回下見会のご案内】
 日時:2019年1月25日 (第4金曜)
 コース:天皇陵と酒造を見て伏見港へ 距離:8.0km
 集合:近鉄・地下鉄 竹田駅北改札前 午前10時 出発